



SSKP つくしんぼの会報紙

つくしんぼ通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

2000年11月号
(No.47)

編集～フリースペース
つくしんぼ
町田市小川1511番地
TEL 042(796)8468

それぞれの秋

メールがきました

九月いっぱいつくしんぼを退職して故郷の仙台へ帰った職員から、メールが届きました。やっと少し落ち着いてきたとのこと。

「どうですか、つくしんぼは？相変わらずですか？ こっちにきてからは子どもとお話ししないんだよな。なんだか変な気分の今日この頃……」等々と書いてきています。

そのつくしんぼは……

相変わらずといえば、まあ、相変わらずなのですけど。秋のせい、というのでもない秋かなつくしんぼです。バザー等のいろいろなイベントがあるため、一見賑やかには感じます。

でも、日常の活動自体は不思議なぐらいに静かです。母親達の遠慮もあるのかも知れません。

参加人数も九月までより減少気味です。

五年という月日

今まで振り返ることもなく、前だけ見て進んできたつくしんぼですが、ふと立ち止まってしまったこの秋、ついつい過去を振り返ってしまいます。五年は……正確にいうとまだ四年半なのですが……とても短かつたような気がします。

♪♪♪つくしんぼ日記♪♪♪

10月8日(土) 天気 くもり

この日、キクちゃんのお別れ会がありました。本当の本当にさよならの日です。

久々にキクちゃんに会って子どもたちは大はしゃぎ。Y君は「キクちゃん、バスケットーやろ～よ～!!」M君は「キクちゃん、野球しそ～!!」とたっても嬉しそう。Kちゃんは「キクちゃんきら～いなれて言つてたけど、やつはい淋しそう。あしまいのあしまいは子どもたちと親たちのアーチをくぐり、一人一人の子どもに声をかけ涙をこらえていたキクちゃんでした。3年間、お疲れ様でした。そして、あいがとう……。



思い返せば

スタート当初、つくしんぼの子ども達は、一人だけ中学

た。立ち止まる機会を得たからこそ、気づくことが出来た

そのことにふと気づきました。

つくしんぼは、そん

な

こと

もしかしたら

つくしんぼは、今、一度リセッ

トボタンを押してみる時が到

来しているのか知れない、と

いう気がして

います。

障害児の親達が集まつて何

が欲しいか、何が必要かを考

え、歩んできたつくしんぼで

す。だからこそ、今何が必要

か、何が出来るかをもう一度

見直す時なのかも知れません。

この五年の間

に、私達はい

す。だからこそ、今何が必要

か、何が出来るかをもう一度

見直す時なのかも知れません。

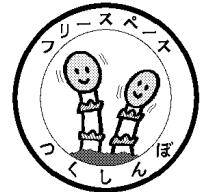
か、何が出来るかをもう一度



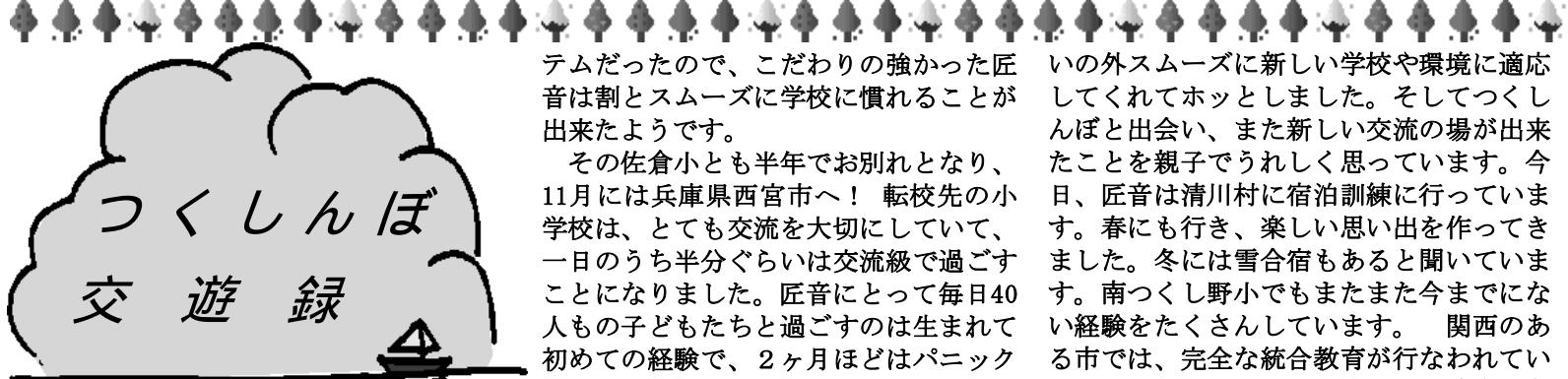
τασσ

うつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです



つくしんぼの活動時間は
月曜日～金曜日、放課後
～午後5時まででーす!!



お引っ越し・・・

古口 利香

匠音(たくと)は今年、小学三年生ですが、入学から今まで2回転校(引っ越しは3回)し、それぞれの土地の障害児学級で過ごしました。

匠音は栃木県で生まれ、小学校入学直前までを過ごしました。住まいが郡部だったせいもあり、普通の幼稚園・保育園には入れず、就学相談でも（まだ当時多動だったので）なかなか受け入れてもらえず、養護学校に行くことを勧められました。

しかし、入学直前、父親の転勤で急遽千葉県の佐倉市へ！私たちは恐る恐る「障害級に入れてください」と教育委員会の方に話すと、あっさりOK！……？なんでだ？ときつねにつまれたような思いでした。佐倉の小学校は10名程のメンバーで、ほとんど交流はありませんでしたが(遠足・運動会等行事のみ)、毎日決まつたカリキュラムのなかで過ごすシス

テムだったので、こだわりの強かった匠音は割とスムーズに学校に慣れることができたようです。

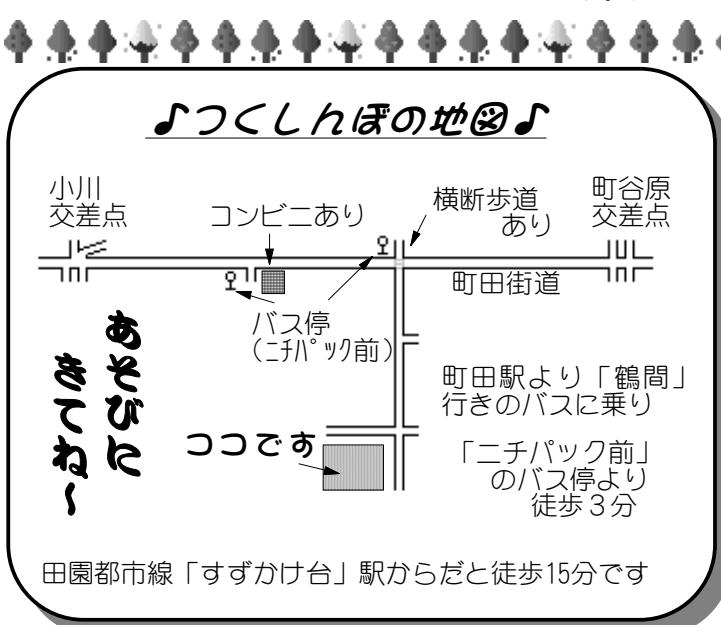
その佐倉小とも半年でお別れとなり、11月には兵庫県西宮市へ！転校先の小学校は、とても交流を大切にしていて、一日のうち半分ぐらいは交流級で過ごすことになりました。匠音にとって毎日40人の子どものたちと過ごすのは生まれて初めての経験で、2ヶ月ほどはパニックの連続でした。あまりトラブルが続くので交流に行かせないでもらおうかとも悩みましたが、がんばり学級[障害級]のあるお母さんに「低学年のうちしかそんなに交流はできないで。子どもは子どもの中でしか伸びひん！あんたが匠音の芽摘んでどないすんねん。あんたがなんぼでも頭下げたらいいやんか！」と言われ、様子を見ることにしました。2年生になつて匠音が変わりました。パニックを起こすことが減り、なによりもすごく言葉が増えました。そして自分の周りにいる子どもたちをとても意識するようになり、笑顔が増えました。その様子は主人にも私にも交流の大切さを強く思わせる結果になりました。匠音の存在をとても自然に受け入れてくれる子どもたちと出会えたことが本当にうれしく、今まで「障害のある特別な子だから……」という思いを改めるようなカルチャーショックを受けました。

今年の3月、又々の転勤……。4月からは町田の南つくし野小学校に通っています。度重なる引っ越しにも関わらず田

いの外スマーズに新しい学校や環境に適応してくれてホッとしました。そしてつくしんぼと出会い、また新しい交流の場が出来たことを親子でうれしく思っています。今日、匠音は清川村に宿泊訓練に行っています。春にも行き、楽しい思い出を作ってきました。冬には雪合宿もあると聞いています。南つくし野小でもまたまた今までにない経験をたくさんしています。関西のある市では、完全な統合教育が行なわれているところもあると聞いています。障害児学級ではなくて、どの子も同じ教室で学習しているようです。でも、それに伴ってまた別の悩みや考え方も出てきているようです。

「せまい日本……」と言いますが、本当にいろいろな考え方があっていろいろな学校があるものだなとつくづく思います。本当にその子にあった教育の場を見つけるなんて至難の業だなと思います。

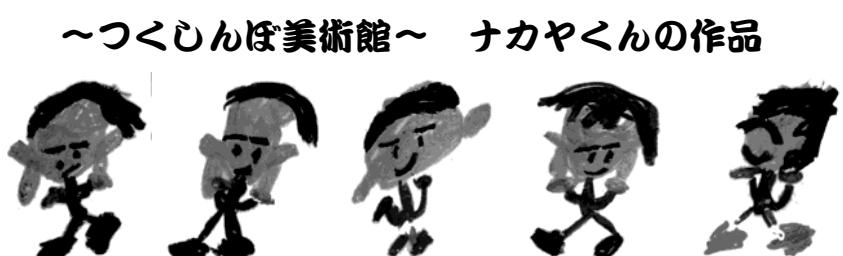
話は変わりますが、匠音が生まれるまで、私は障害のある人がこの世で生きているなんてことを考えもせずに生活していました。でも匠音が自閉という障害を持って生まれてきたことで、人よりも多くのものを見、人よりも多くのことを考える機会を与えてもらつたと思います。匠音には高一になる兄(翔太朗)がいますが、自分の意志で人生を歩んでいけるすごさに改めて感心したりしますし、匠音のことを「障害があるなじじやなく、僕の弟だよ」と言ってくれたことに感謝します。そして、匠音が匠音として生きていける社会になるといいな……と思います。



編集後記

いよいよ肌寒い季節になってまいりました。私は……1人早々とマフラーをし、人肌恋しくて子どもたちにスリスリしては「あっちいって!!」と怒られる始末です

す。彼もまた冬になるとジュー
タンの間にもぐり込んで寒さを
しのいでいたり、人肌恋しくて
スリスリしたり……。
冬になると私と彼はとっても
仲良しになるんです。
寒い日々をすごすにはやっぱ
り人肌だわ。だれか私をあた
めてめて……。(M)



<p>「つくしんぼをめぐらす会」</p> <p>ご入会 ご更新のお願い</p> <p>私たち、ハンドメイドの 持つ子ども達の放課後活 動の場としてフリースペー スつくしんぼを九六年五 月に開所し、おかげさま で九八年四月より補助金 を頂ける団体として認め られるに至りました。</p> <p>しかしながら、公的資 金だけでは、運営が苦し いのは相変わらずです。 そこで皆様にお願いが ございます。本当に勝手 なお願いで申し訳ないの ですが、「つくしんぼをさ さえる会」に入会しては 頂けませんでしょうか。</p> <p>年会費のあ 支払いは、関 係者に直接お 渡し頂くか、お近くの郵 便局より下記の口座番号 にお振込いただければ幸 いです。</p> <p>よろしくお願い申しつ げます。</p>	
<p>郵便振替口座番号 00120-7-168283</p> <p>加入者口座名称 フリースペースつくしんぼ</p>	

郵便振替口座番号 00120-7-168283

加入者口座名称 フリースペースつくしんぽ